

一沿革一

平成元年 12月	創業
平成 2年 1月	宮里病院開設(名護市)
平成 5年 10月	老人性痴呆疾患センター開設(厚生省・県指定補助事業、県内初)
平成 8年 3月	老人保健施設亀の里開設(80床、沖縄市)
平成 8年 6月	宮里病院一般療養型病床 72床増床(県内初:総計 239床)
平成 8年 11月	沖縄リハビリテーションセンター病院開設(200床、沖縄市)
平成 9年 4月	入所授産施設コンシェル開設(30人定員、名護市)
平成 10年 4月	宮里病院老人性痴呆疾患治療病棟 50床・同デイケア施設開設(国庫補助事業)
平成 11年 10月	「痴呆の基礎知識」著者宮里好一刊行、全国痴呆関連図書でベストセラーとなる
平成 13年 10月	全国リハビリテーション・ケア合同研究大会・沖縄 2001開催(会長:宮里好一)
平成 13年 11月	沖縄県中部圏地域リハビリテーション広域支援センター指定
平成 13年 12月	インドネシア・ワヒド大統領夫人が沖縄リハビリテーションセンター病院を視察訪問 アジアリハビリテーションの船:アース号構想の実現を宮里理事長が言明
平成 14年 3月	職員宿舎「ラ・ファミリーユミやざと」竣工
平成 16年 7月	宮里病院北病棟 3階増築(急性期精神科治療病棟整備)
平成 18年 8月	タピック沖縄株式会社設立
平成 19年 9月	沖縄県高次脳機能障害支援・普及事業の拠点機関として 沖縄リハビリテーションセンター病院が指定(県補助事業)
平成 20年 4月	沖縄社会保険センター・ペアーレ沖縄を国より継承しオープン(沖縄市)
平成 20年 11月	第 5 回国際健康産業サミット(北京)にて宮里理事長の講演と老人ホーム視察・助言
平成 20年 11月	JICA「草の根技術協力:地域提案型・フィジー国理学療法士臨床技術研修」を 沖縄リハビリテーションセンター病院にて 3人受け入れ(平成 21年継続)
平成 21年 2月	沖縄厚生年金休暇センターを国から継承しウェルネスリゾート 沖縄休暇センターユイinchホテル南城オープン (南城市、タピック沖縄株式会社運営)
平成 21年 4月	南城市長一行と蘇州市・上海市の健診センター・中国医院視察
平成 21年 5月	名護市スポーツリハビリテーションセンター・スポークの指定管理事業者受託
平成 21年 11月	特定非営利活動法人・国際リハビリテーションスポーツ振興協会 IRS 設立
平成 21年 12月	南城ユイinch鉱山天然ガス探鉱・試掘工事(国庫補助事業)
平成 22年 2月	上海交通大学付属病院の 4人の中医学教授・医師を招聘し 南城市にて講演(徐葆光の道を歩もう会主催)
平成 22年 2月	深圳市音楽専門学校生徒・教師・父兄 51人の文化交流旅行受け入れ
平成 22年 4月	適合高齢者専用賃貸住宅ラ・ページブル泡瀬開設(48人定員)
平成 22年 10月	一般・高専賃・障害者含む多層共同住宅ラ・ページブル名護開設
平成 23年 2月	南城市の元気プロジェクト事業(県事業)として、上海・北京からの 医療ツーリズムモニターツアー受け入れ
平成 25年 3月	東南植物楽園継承
平成 26年 3月	屋我地ビーチ継承
平成 27年 11月	タピックオリンピックフェスティバル (ユイinchホテル南城)
平成 27年 12月	書籍上梓「タピックの新医療革命 21世紀の世界を支えるために」
平成 28年 3月	回復期リハビリテーション協会 第 27 回研究大会 in 沖縄 運営